



創 立 1993年12月1日  
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500  
 ホテル日航成田  
 TEL/FAX 0476-24-5044  
 例会場 ホテル日航成田内  
 TEL 0476-32-1144

# 成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ  
 ロータリーは機会の扉を開く

【 会長 ホルガー・クナーク 】

成田コスモポリタンRCターゲット  
 「機会をとらえ、Take an action！」

〔会長：藤崎 政弘〕

## 第 1300回 例会

令和2年11月4日（水）

### 《「稲むらの火」にちなんで》

◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長

◇ 国歌斉唱 君 が 代

◇ ロータリーソング 奉 仕 の 理 想

◇ 四つのテストの歌

◇ お客様紹介

成田ロータリークラブ 近藤 博貴 様

米山記念奨学会 奨学生 アリム・イケラム 様

◇ ニコニコ BOX

・太田 不二雄 会員

《久しぶりに、ベテランテニス大会（シングルス）に参加し、優勝しました。テニスを継続する  
 元気ができました。》

◇ 結婚記念日紹介

川 島 健太郎 会員	《11月 3日》	石 井 量 久 会員	《11月 4日》
藤 崎 政 弘 会員	《11月 7日》	飯 島 一 扶 会員	《11月 7日》
山 本 博 久 会員	《11月 8日》	高 木 正 尊 会員	《11月 9日》
片 岡 孝 治 会員	《11月11日》	青 木 貞 雄 会員	《11月23日》
長谷川 浩 史 会員	《11月23日》	林 省 三 会員	《11月25日》
澤 田 順 行 会員	《11月27日》	渡 辺 博 光 会員	《11月30日》



#### ◇ 誕生日紹介

岩澤 弘 会員 《11月 8日》  
黒木 久 会員 《11月21日》  
吉岡 正之 会員 《11月23日》



#### ◇ 牧和宏 会員 退会のご挨拶



私事で恐縮ですが、11月1日付で異動の辞令を受けまして成田を離れることになりました。次に行くところは九州の小倉でございます。成田は700室の大型の宿泊施設で、次の所は93室の婚礼が主体のホテルですので、コロナの中で非常に厳しい戦いを強いられている所に行きます。こちらのロータリークラブに入会して1年半ぐらいの短いお付き合いで、みなさんと親睦と奉仕を深められたかと思うと難しい所ですが、次の小倉でも同じくロータリークラブに入るかと思っています。ここで培った皆様方のご恩を忘れずに、新たな土地で頑張っていきたいと思っております。短い間でしたがお世話になりました。有難うございました。

#### ◇ 米山記念奨学会委員会 山本 豊一 委員長



米山記念奨学生のアリム・イケラム様に11月分の奨学金が会長より贈呈されました。



#### ◇ 会長挨拶 藤崎 政弘 会長



皆さん、こんにちは。本日の例会ご参加有難うございます。本日は成田ロータリークラブから近藤博貴様にお越しいただき卓話を賜ります。本当に有難うございます。また、ホテルマイステイズの牧さん2年間有難うございました。そして米山奨学生イケラム君ご出席有難うございます。そして太田先生、優勝おめでとうございます。今後ともご健康に留意され、ますます頑張ってください。

さて、今月は「ロータリー財団」月間ということで、先週には地区ロータリー財団委員会の櫻木英一郎委員長をお迎えしての卓話でしたから、会員の方々への理解は深まったと思いますので、ダブらないように触れさせていただきます。「ロータリー財団」の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする。」と提唱し、会員からの寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。「創立以来100年間、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトにより、世界の地域社会を少しずつ変えていくことが出来る。」との事です。我がクラブもこの精神にのっとり、カンボジアへの国際奉仕活動の一翼を担っている事と自負しております。

さて、本日の例会は、「稲むらの火」という事で、若干調べてみましたら、私が生まれるちょうど100年前の1854年の安政南海地震の津波に際しての出来事を基にした物語であるとの事で、地震後の津波への警戒と早期避難の重要性、人命救助のための犠牲的精神を説く出来事の様であります。

私は2011年3月11日に発生した東日本大震災での東北地方太平洋沖地震による災害と福島第一原子力発電所事故による災害を思い出します。ちょうどその時、銚子市の犬吠埼のあるホテルで短期間

の仕事をしておりました。そのホテルは高台にあり、左側に灯台と眼前には太平洋の眺望と、素晴らしい景色を一望できるところに位置しております。たまたま外にいた私は、地震の大きな揺れで建物が大きく揺れているのを見て大変恐怖を感じておりました。揺れが収まり、建物の中に入って太平洋を見ましたら、海水が沖の方に引いていくのが眼下に見えました。そして海底の赤茶色の岩肌が、遠くまで見えるのです。最初は理解に苦しみましたが、直感でこの後に津波が来るのだと確信しました。すぐに従業員と庭園にあるテーブルやバーベキューセットを屋内へしまい込み、安全確保をしていました。しばらくすると、だんだん波が押し寄せてくるのがわかるのです。その恐怖というのは本当に生きた心地がしませんでした。銚子での津波の被害はそれほどでもなかったようですが、大吠埼の灯台を境に、北の茨城県神栖市や千葉県旭市へ大規模な津波の被害が出てしまいました。本当に恐ろしい体験をしたことを思い出しました。

是非今日は近藤先生のお話を聞きながら、皆様と貴重な時間を過ごしていきたいと思っております。以上会長挨拶といたします。有難うございました。

## ◇ 委員会報告

### ◎ ロータリー情報・雑誌・クラブ研修委員会 村島 義則 委員長

「ロータリーの友」11月号を簡単にご紹介いたします。横書き P18 に「どうなった？例会」では、コロナ禍でリモート開催や、円卓から学校形式になっていると書かれています。P27 は東京地区の様子であんみつ姫の松島トモ子さんが写っています。縦書きの P14 では寒郡さんが短歌を出していますので読んでください。縦書き P18 の「友愛の広場」の中の『「四つの初めて」が勢ぞろい』では、女性のガバナー、ガバナー補佐が出たという事で、漆原ガバナーが載っていますので、読んでいただければと思います。また、「友愛の広場」の最初に、「私たちはなぜ奉仕活動をおこなうのか」東京の宮崎さん、「ロータリーの法則」横浜港北の桑原さんの掲載を読みましたが、いろいろと参考になりました。戻り横書き P47 ですが、いつも気にしているクラブの会員数ですが、1年間で 2,688 名今回退会しています。それはひとつの地区が無くなった感じになります。2750 地区（東京）157 名退会、京都の 2650 地区は 100 名ほど退会しています。大都市圏での観光・飲食業が苦しいのかと思います。是非みなさんで当クラブの新しい会員を増やして、これから 75 名・80 名を目指し、会員増強をしていただければと思います。雑誌委員会より以上です。



### ◇ 幹事報告 岩澤 弘 幹事

- 回 覧： 無し
- 例会案内・変更： 無し
- その他： ・ガバナー月信・ロータリーの友 配布  
・この後、別室で今月の定例理事会を行います。



### ◇ ホームミーティングのご案内 藤崎 康人 会長エレクト

ホームミーティングを 11 月 4 日、11 日、18 日、25 日、12 月 2 日で予定しております。コロナ禍の開催の為、原則として討議時間は 30 分、食事時間 1 時間でアルコール無しとしました。クラスター発生予防の為、配慮のもとよろしくお願いたします。



◇ プログラム委員会 池田 和彦 委員

今月、第3週まで第10グループの成田・八街・富里のクラブに卓話をお願いしました。ロータリーとは関係ない話という事で、興味のあるお話もあるかと思しますので、メーカーではなく是非11月の例会に出席をしていただきたいと思います。



卓 話 「稲むらの火」にちなんで 成田ロータリークラブ 近藤 博貴 会員



[近藤博貴会員プロフィール]

昭和 9年 4月 長野県茅野市生まれ  
昭和 33年 4月 成田高等学校教諭として赴任  
昭和 54年 4月 成田山財団事務局に転出  
(公益財団法人・社会奉仕法人の事務局)  
平成元年 8月 成田ロータリークラブ入会  
平成10年～11年 成田ロータリークラブ幹事就任  
平成12年～13年 成田ロータリークラブ会長就任  
平成13年 3月 事務局を退職  
平成20年～21年 第10グループガバナー補佐就任

皆さんこんにちは。実は私、大学4年の時、急に大学から呼び出されまして、成田高校で教員を募集しているので面接に行きなさいとの命令を受けました。成田がどこにあるのかもわからなかった私は、どのように行けばいいのかを尋ね、教えてもらい、成田に来ました。昭和33年の2月頃だったと思います。それから今年でちょうど63年目となりました。とうとう成田の人間になったなという感じがします。おかげさまで途中から成田ロータリークラブに入れて頂き、いろいろやらせて頂いたので、だいぶ印旛郡内の人と知り合いになることが出来ました。教員をやっているよりも、ロータリークラブにいて知り合いが出来たという事が私の幸せかなと感じております。今日は卓話をする事になりましたが、「稲むらの火」という話から浜口梧陵というヤマサの醤油屋さんという事で、千葉県と和歌山県との関わりと醤油の会社の話を無理やりに繋げて話をしたいと思っております。

平成23年3月11日に東日本大震災が起りまして、あと4ヶ月ほどで10年になろうとしています。この地震によって津波が起り、津波というものが一段とクローズアップされてまいりました。実は平成25年10月26日に御茶ノ水にあります明治大学の駿河台キャンパスという所で珍しいシンポジウムがあり、参加して参りました。それは和歌山県の広川町という所が主催で、「和歌山県が生んだ津波防災の先駆者浜口梧陵と稲むらの火にちなんで」というものでした。「稲むらの火」という話をご存知でしょうか？私も子供のころに聞いたような気がしますが、東北地方の三陸海岸の話かなというくらいの意識しかなかったのですが、これが和歌山県の話だと聞いてびっくりしました。この話は江戸時代末期、今から160年ほど前に和歌山県で起きた地震のあと、高台に住む五兵衛という人が津波を予想し、稲むらに火を放ち村人たちを救ったという話です。実はこの話の原本は小泉八雲の小説「仏陀の畑の落穂拾い」の中のA Living Godという部分で、戦前文部省が国語読本として採用しました。国語読本の文章は、中井常蔵という教員が八雲の小説の一部分を教科書用に要約したものです。

「稲むらの火」のモデルとなった出来事というのは、安政元年11月5日、新暦では12月24日の夜に起きた話だそうです。この話の主人公となるのは濱口梧陵、当時35歳でした。浜口梧陵は和歌山県広村(現広川町)から12歳で本家濱口家の養子となって銚子に移り、33歳頃まで銚子のヤマサ醤油

で働き、その頃に7代目のヤマサ醤油の経営者となり、江戸に出て、故郷の広村との間を行き来し、いろいろな事業を行ったということです。広村という所は昔から何回も津波に襲われていたようで、簡単な石垣を作るなどの津波除けの対策をしていたようですが、浜口梧陵はこの地震のあとの救済をするためにいろいろな事業をやり、それによって手に入れた私財のほとんどの4665両を投じて橋や堤防を作った



そうです。そのような社会事業はロータリー精神に通ずるものがあると思いました。たくさんの事業をする中で、いろいろな人たちと交流を深めていたようですが、なかでも勝海舟とはかなりの交流があったようです。このように浜口梧陵は実業家、社会事業家、政治家など多方面で活躍しております。

次は和歌山県と千葉県との関わりについてです。和歌山県の南部は山地が海岸に迫って耕地が少なく、昔から沿岸漁業に頼っていました。江戸時代以前から和歌山県の漁業者たちは、太平洋岸に沿って漁業をしながら九十九里浜や銚子あたりに来てイワシ漁などをやっていたのではということです。こうしたことから紀州の人々たちは次第に「白浜」や「勝浦」「片貝」などに移住するようになったのではないのでしょうか。外房の地域には和歌山県から移住した人達の子孫が多く、銚子には「木の国会」というのがあり「モッコク」会と呼ばれ、いまでも集まりがあるそうです。

1603年に江戸幕府が開かれ、江戸城や市街地造成のため多くの人々が江戸に集まり、醤油の需要が増えたのではないかとされています。利根川、江戸川のちに開鑿された利根運河を利用して醤油を運ぶのに水運が便利だったため、千葉で醤油づくりが盛んになったのではないかと考えられます。

ヤマサ醤油についてですが、1645年に広川村(現広川町)の濱口家が醤油醸造を始めたようです。ヤマサの暖簾は当初「山笠」に「キ」でしたが、徳川家の御用船が同じ印を使用していたので、キを横にしたところサに見えることからヤマサが通称になったとされています。ヤマサの現会長は濱口道雄氏です。ヒゲタ醤油についてですが、1616年銚子の豪農田中玄蕃が、西宮の酒造家真宜九郎右衛門の勧めで醤油の醸造を始めました。ヒゲタのマークの由来はいくつかありますが、一説には初め入山田のマークを筆で書いたとき、田の字から墨が垂れてヒゲのように見えたところから、周囲がヒゲタと言うようになったという説があります。キッコーマンは1917年野田市にあった8家の醤油醸造家が合同して、野田醤油会社を作り、会社の創立に際し統一商標を「亀甲萬」としました。「亀甲」は香取神社の山号で「鶴は千年、亀は万年」の言葉を組み合わせたとされています。現会長は茂木友三郎氏で、この方は海外に醤油を進めたとして表彰されています。

後半、時間が足りなくなり、雑駁なお話になってしまいました。どうもご清聴ありがとうございました。



◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長



☆ 本日のお料理

◇ 出席報告 \*メーキャップは前後2週間です。

	日 付	会員数	免 除	出 席	欠 席	M U	出 席 率	補 正 出 席 率
前々回修正	10月21日	72名	5名	38名	29名	3名		58.57%
本日例会	11月4日	72名	5名	34名	32名	3名	53.62%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022